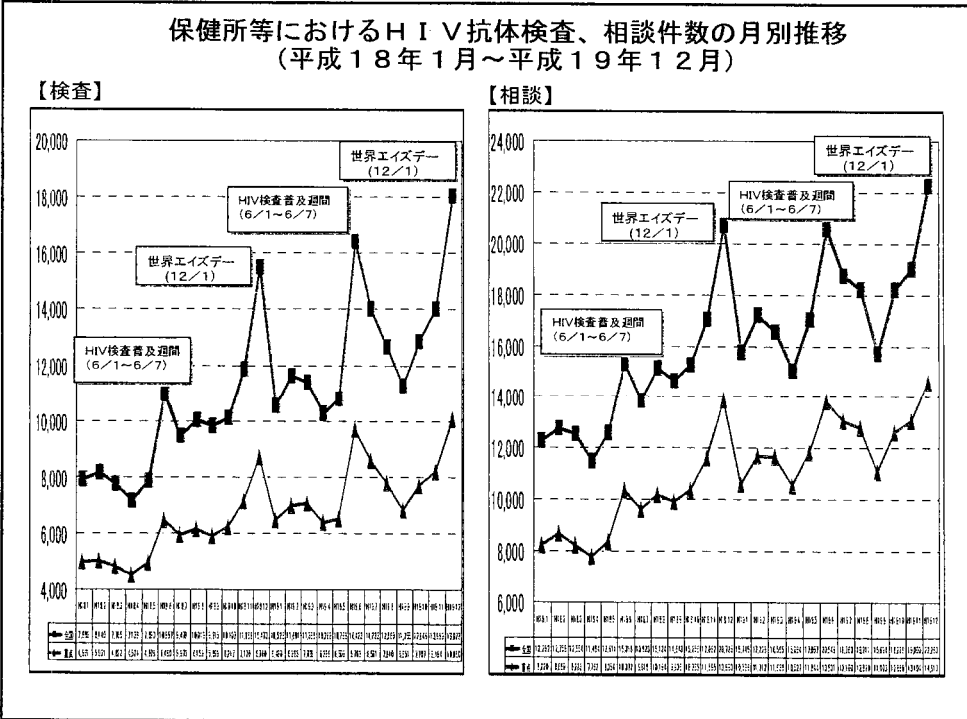


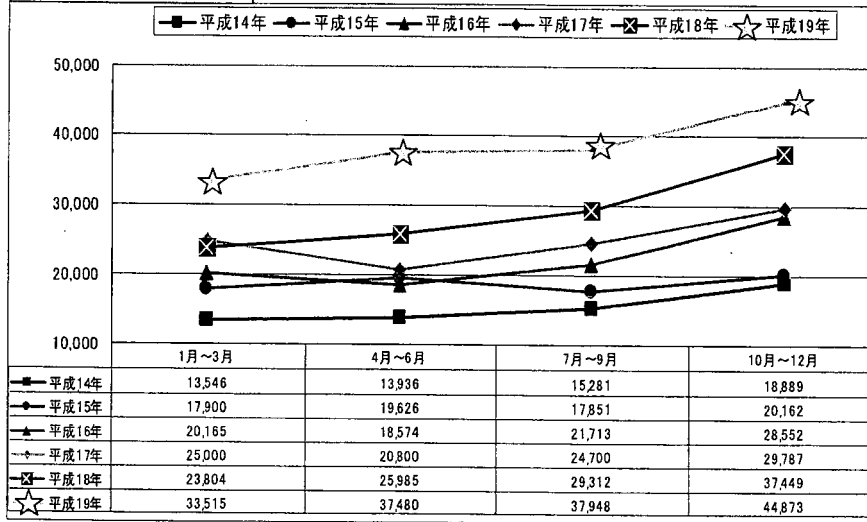
平成20年度 HIV検査普及週間について

厚生労働省健康局疾病対策課



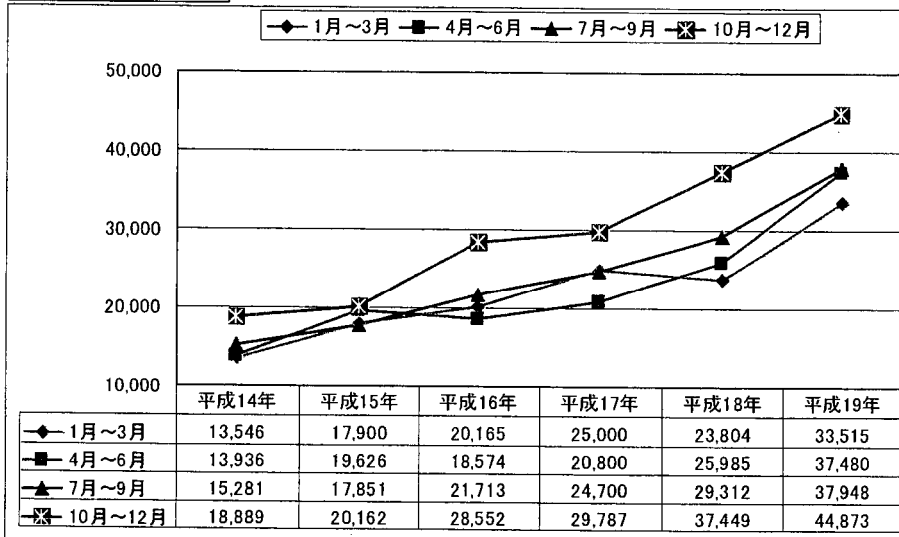
保健所等における検査実績

四半期ごとの年別推移



保健所等における検査実績

年別四半期の推移



重点都道府県におけるHIV抗体検査の実績件数について

(単位:件)

	平成18年1月～12月		平成19年1月～12月	増加率
茨城県	1,664	→	2,714	63.1% 増
埼玉県	3,670	→	5,338	45.4% 増
千葉県	4,623	→	6,369	37.8% 増
東京都	23,446	→	28,965	23.5% 増
神奈川県	9,620	→	11,768	22.3% 増
山梨県	716	→	943	31.7% 増
長野県	2,663	→	3,659	37.4% 増
愛知県	7,917	→	11,240	42.0% 増
大阪府	14,044	→	17,609	25.4% 増
沖縄県	2,547	→	3,755	47.4% 増

エイズ検査「無料」「匿名」受診認知(ヤフー株式会社による調査の抜粋)

Q エイズウイルスに感染したかどうかはエイズ検査を受ければ分かります。エイズ検査は、全国のどこの保健所でも、「無料」で検査を実施しています。また「匿名」で受診できるので、保険証も不要です。あなたはこのことを知っていましたか？(回答は1つ)

「無料」「匿名」どちらも知っている
「無料」ということは知っていたが、「匿名」ということは知らなかった
「匿名」ということは知っていたが、「無料」ということは知らなかった
「無料」「匿名」どちらも知らなかった

「無料」「匿名」どちらも知っていた
「無料」ということは知っていたが、「匿名」ということは知らなかった
「匿名」ということは知っていたが、「無料」ということは知らなかった
「無料」「匿名」どちらも知らなかった

2007年(n=1337) 19.5 5.6 8.5

2006年(n=1341) 32.7 2.1 6.9

2005年(n=1383) 15.0 14.6 5.24

2004年(n=1398) 16.2 16.1 31.0

全体(n=1337) 24.3 68.5

男性計(n=676) 24.4 58.6

男性10代(n=159) 24.4 59.8

男性20代(n=262) 24.4 60.9

男性30代(n=255) 24.4 67.1

女性計(n=661) 24.4 78.3

女性10代(n=145) 24.4 111.0

女性20代(n=264) 24.4 72.1 11.0

女性30代(n=252) 24.4 104.0 34.0

<コメント>

検査が「無料」「匿名」で受けられることに対する認知は、「どちらも知っていた」が81%と高く、広く認知されている様子が伺える。
・性年代別にみてもいずれの層でも認知が高い。
・今回の調査では「どちらも知っていた」が前回から大きくアップ(67%→81%)していることがわかる。

■プレ調査
2007年10月29日～11月1日
調査対象: Yahoo!リサーチモニター
抽出条件: 男女15-39歳
回収数: 10,217人

■本調査 調査時期: 2006年11月1日～11月6日
抽出条件: プレ調査回答者で、本調査への回答受諾者
回答者数: 1,337人

平成19年度HIV検査普及週間の実施内容

(1)トークライブ及び街頭キャンペーン

HIV検査普及週間の告知及びHIV検査の浸透・普及のため、山本シュウ氏や松竹芸能のタレントによるトークライブ及びNGOやボランティア団体、企業等による街頭キャンペーン(パンフレット、啓発グッズ等の配布)の実施。

実施場所等 5月28日 東京(池袋、渋谷、新宿) 5月30日 名古屋(栄小公園) 5月31日 大阪(アメリカ村)

(2)ラジオによる普及啓発

HIV検査普及週間の実施の告知と絢香さんからのHIV検査への呼びかけメッセージの放送

放送局 東京FM、FM愛知、FM大阪、FM富士、FM長野、FM沖縄



(3)その他

- ポスター・パンフレットによる啓発
自治体、保健所、交通広告等
- エイズ予防財団の媒体による情報提供
エイズ予防情報ネット、エイズレポート
- インターネット上での啓発活動
ヤフーとの連携、セカンドライフ内での告知



平成20年度H I V検査普及週間の活動計画

1 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のH I Vやエイズに対する関心を喚起し、もってH I V検査の浸透・普及を図るため、キャンペーン活動等を実施する。

2 期間

平成20年5月下旬から6月7日（土）まで
（検査普及週間 6月1日から6月7日まで）

3 厚生労働省が実施するイベント等の概要

（1）特に重点的に連絡調整すべき自治体地域をカバーするFM局を中心に検査普及週間の告知

- H I V検査普及週間の実施及び検査実施期間等について番組での告知
- 放送予定局
東京FM、FM愛知、FM大阪、FM富士、FM長野、FM沖縄 等

（2）街頭キャンペーン

著名人による啓発イベントを実施するとともに、エイズ予防財団を中心にボランティア等の協力を得て、チラシやパンフレット、グッズ等を街頭にて配布

- 実施場所（予定）
東京都：渋谷
- 実施日（予定）
5月下旬

(3) ポスター・パンフレットによる啓発

○ 啓発ポスターの配布 (45,000 部)

- ・ 自治体、保健所等
- ・ 全国公衆浴場業生活衛生共同組合連合会
- ・ 全国興業生活衛生協同組合連合会

掲示期間：検査普及週間前後1ヶ月程度

- ・ 交通広告 (JR、私鉄及び地下鉄各線)

掲示期間：5月上旬から6月7日までのうち、任意の3日間

○ 啓発パンフレットの配布 (200,000 部)

- ・ 自治体、保健所、拠点病院

(4) インターネットによる啓発及び情報提供

Yahoo! JAPAN との連携企画として「レッドリボンキャンペーン」をインターネット上で展開する。

また、エイズ予防財団のホームページ (エイズ予防情報ネット) において、検査普及週間前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載する。

平成20年度のHIV検査相談体制及びHIV検査普及週間の取り組みについて (重点都道府県等)

自治体名	夜間検査		休日検査		迅速検査		イベントでの検査・相談	19年度実施状況	20年度実施予定
	平常	週間	平常	週間	平常	週間			
茨城県	○				○			・東北給食研究会で感染症に関する講話を実施 ・ラジオでの検査普及週間のPR ・エイズ啓発記事掲載のJR時刻表、ポスターを駅に配布すること等で検査普及週間をPR	・講演会、街頭キャンペーン等イベントを実施予定
埼玉県	○		○		○		検討中	・県の広報等を活用して「検査普及週間」を広く広報 ・免許センター及び大学で検査情報入りポケットティッシュやHIV検査案内パンフレット入りのポケットティッシュを配布	・検討中
千葉県	○			●	○	●	○	・駅前施設における相談、検査の実施(平日)	・駅前施設における相談、検査の実施(休日)
東京都	○	●	○	●	○	●		・東京都HIV検査・相談月間(6月1日～30日)を実施(リーフレットの作成配布(50,000部)等) ・エイズ啓発拠点「ふおーていー」の開設 ・記念講演会の実施(講師:(社)地域医療新興協会ヘルスプロモーション研究センター 岩室紳也氏)	・東京都HIV検査・相談月間(6月1日～30日)の実施(リーフレットの作成・配布(50,000部)等) ・記念講演会の実施(講師:(株)フジテレビジョンアナウンサー 佐々木恭子氏) ・エイズ予防街頭キャンペーン(場所:府中フォーリス前)
神奈川県	○		○		○		○	・検査普及週間に合わせ、神奈川県HIV即日検査センターを会場として検査イベントを開催し、検査回数を増やした。 ・鎌倉ビーチフェスタ2007にてパンフレットとグッズを配布	・検査普及週間に合わせ、神奈川県HIV即日検査センターの検査回数を増やし、毎月3回の開催に設定 ・検査会場及び本厚木駅周辺において、パンフレット及びグッズの配布と展示を実施予定
山梨県	○	●	○	※1	○			・歯科健康フェスタ、口腔衛生週間キャンペーンと協同でイベントを実施	・歯科健康フェスタ、口腔衛生週間キャンペーンと協同でイベントを実施
長野県	○			●	○		○	・駅前、高校、大型店等で啓発グッズを配布 ・ラジオ、テレビスポット、新聞広告等による検査PR	・街頭キャンペーン(啓発グッズ配布) ・出張相談、休日検査の実施
愛知県	○		○		○			・検査普及週間中の保健所休日検査に関して、5月19日から6月1日まで県内主要映画館の映画幕間広告を行うとともに、クーポンマガジン「Hot Pepper」名古屋版6月号に広告を出した。	・検査普及週間に実施する保健所休日検査に関して、インターネット動画においてCM広告をする
大阪府	○		○		○			・アメリカ村三角公園にてライブトークと街頭キャンペーンを実施(5月31日) ・臨時検査を実施(6月1日に通常検査、6月2日と9日に迅速検査)	・検討中
沖縄県	○	●			○	●		・大型食料品店でのパネル展示 ・保健所HP、タウン誌等で検査体制の周知 ・ショッピングセンター等でリーフレット等の配布 ・記者発表及びチラシの配布 ・ポスターの掲示(図書館・大型スーパー) ・県広報誌での検査普及週間の周知	・公共施設(商工会議所等)でのパネル展示 ・保健所ホームページで検査体制の周知 ・記者発表及びチラシの配布、学校現場での講演 ・ポスターの掲示、検査普及チラシ入りティッシュの配布 ・県広報誌での検査普及週間の周知
さいたま市	○		○	●	○		○	・各区役所(10ヶ所)及び関係課所でのティッシュペーパーの配布、HPや駅オーロラビジョン等でのPR放映 ・協議会学生委員の大学でのティッシュペーパー配布 ・休日HIV即日検査の実施	・各区役所、関係課所でのティッシュペーパーの配布 ・大学でのティッシュペーパー等配布 ・HPや駅オーロラビジョンでのPR放映 ・休日検査の実施
千葉市	○	●				●		・特に無し	・特に無し
横浜市	○		○		○		未定	・6月13日と14日の夜間に、HIV、クラミジア、梅毒、B型肝炎の検査・相談(ゲイコミュニティ、MSMヘフライヤー等で周知) ・各区におけるパネル展示等	・検討中
川崎市			○		○			・6月2日、JR川崎駅自由通路でHIV検査普及週間キャンペーンとしてHIV検査案内等のリーフレット類配布(400部)	・特に無し
名古屋市	○		○		○			・街頭キャンペーン(5月30日) ・無料HIV迅速検査会(6月3日)	・無料HIV検査会
大阪市	○		○		○			・特に無し	・特に無し

○は平常から実施している自治体(20年度開始予定含む)
●は検査普及週間のみ実施、もしくは実施体制を強化する自治体
※1 エイズデーのみ実施

夜間検査・・・保健所閉所(17時)以降に検査を実施している自治体
休日検査・・・土日に検査を実施している自治体
迅速検査・・・迅速検査キットを使い即日結果を返している自治体

平成20年度「H I V検査普及週間」実施要綱

1 趣 旨

H I V感染者・エイズ患者新規報告数は、依然として増加傾向にある。平成20年2月7日に開催されたエイズ動向委員会の発表によると、平成19年（速報値）においては、1,448件と過去最高を記録し、予断を許さない状況となっている。

また、診断時には既にエイズを発症している事例が約3割を占めており、これは、早期発見のための検査機会を逸していることによるものと考えられる。

これまでも保健所や検査室等においては、無料・匿名でH I V検査を行うとともに、利用者の利便性に配慮した検査・相談体制の構築を進めてきたが、今後はより一層こうした取組みの推進が求められている。

そこで、H I V検査普及週間（以下「本週間」という。）を機会に、国や都道府県等（都道府県、保健所を設置する市及び特別区を言う。以下同じ）が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のH I Vやエイズに対する関心を喚起し、もってH I V検査の浸透・普及を図ることとする。

2 期 間

平成20年6月1日(日)～7日(土)

3 主 唱

厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

4 主 題（キャッチフレーズ）

各都道府県等によって適宜定めるものとする。

なお、H I V検査ではなく、広く理解されやすくなるよう「エイズ検査」という名称を用いても構わない。

（例：「エイズ検査は、あなたにも必要です」等）

5 実施方法

(1) 厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

本週間に係る全国的なキャンペーン活動を行うとともに、期間内における検査の日程及び会場等について、プレス発表等を通じて全国一斉に紹介することにより、広くH I V・エイズに対する関心の喚起を図る。

また、H I V検査や相談・カウンセリングに係るマニュアル等を作成するなど、検査や相談に係る情報提供を行うことにより、都道府県等が行う検査・相談に対

する技術的支援を行う。

(2) 都道府県等

検査受診者の立場に立ち、地域における特性を踏まえながら、利便性やサービス向上に配慮した検査・相談体制の整備促進を図り、これにより、H I V検査が地域住民にとって身近なものと捉えられるよう環境整備に努めること。

具体的には、平日夜間や土日における検査といった時間外検査や、迅速検査の実施はもとより、H I V検査の普及を図るため、イベント等集客の多い機会と連動した検査の実施などを行う。

また、エイズに係る正しい知識の普及啓発を進めるとともに、検査・相談の利用に係る情報につき、積極的な広報に努める。

6 留意事項

H I V検査や相談に当たっては、検査受診者のプライバシーの保護に十分配慮するとともに、検査前及び検査後の相談の機会を、受診者個々人の行動変容を促す絶好の機会と位置付け、適切な相談を行うよう努めること。また、陽性が判明した場合については、医療機関の紹介等にあたり十分に説明する等配慮すること。

7 その他

なお、本週間における当検査・相談の実施については感染症予防事業費等国庫負担（補助）金「特定感染症検査等事業（H I V抗体検査及びエイズに関する相談事業）」の補助対象であること、また検査・相談とあわせて行うイベント等については、「エイズ対策促進事業」の補助対象であることを申し添える。